



龍ヶ崎市マスコット
キャラクター「まいりゅう」

地域コミュニティ NEWS

回 覧

第10号 平成30年1月16日発行
【編集・発行】
龍ヶ崎市役所 市民生活部 市民協働課
コミュニティ推進グループ
☎0297-64-1111 内線437・439

「駒馬台地域コミュニティ設立準備会」が立ち上がりました。

駒馬台地区では、昨年8月5日、駒馬台地域コミュニティ設立準備会を立ち上げました。現在は、コミュニティ協議会の名称や構成委員、事業計画、規約等の話し合いを進めています。「コミュニティセンター活動推進協議会の活動を基本に組織していけば良いのでは？」という意見から、これを基本に組織を検討しています。住民負担にならないような組織づくりを目指し、平成30年度の設定に向けて協議を進めています。



青パト仕様公用車が配備されました。

昨年9月、青色防犯パトロール仕様の公用車が、市内全てのコミュニティセンターに配備されました。通常時は、コミュニティセンター職員が市役所への文書收受や地区への回覧文書配布等の際に、防犯パトロールを兼ねて青パト仕様公用車を利用します。

これまで、防犯連絡員などが防犯パトロール活動を行う際は、市役所まで足を運び、青パト仕様の公用車を借りる必要がありました。しかし、今回の公用車配置により、各コミュニティセンターを窓口とし、業務に支障のない範囲で、各地域コミュニティ協議会等にも貸出を可能としました。また、青色防犯パトロールが地域の身近な存在になることも期待されます。



青パト仕様公用車出発式



各コミュニティセンターに配備された
青パト仕様公用車。

現在、市内3つの地域コミュニティ協議会が、自動車を利用した防犯パトロールを実施しております。

川原代ふれあい協議会は、協議会所有車を利用した青色防犯パトロールを、地域の方の協力を得ながら、週6回実施しています。また、大宮ふるさと協議会では、市の貸出公用車を利用した大宮地区全体の防犯パトロールを、生活安全委員会を中心に月1回実施しています。

一方、駒柴まちづくり協議会では、青色防犯パトロール実施を目指し、約70名の協力者とともに、自家用車を利用した試験的防犯パトロールを平成28年7月から1年間実施してきました。今回、青パト仕様公用車を利用した防犯パトロールの実施が決定し、青色防犯パトロール団体としての登録や、講習を受講するなどの準備が整いつつあります。手続きが終わり次第、駒柴コミュニティセンターの青パト仕様公用車を利用していくことになるため、これまでの自家用車利用時とは異なり、1台の公用車でパトロールすることになります。青パト仕様公用車により、自家用車利用時に比べ抑止効果は向上しますが、パトロールの時間や協力者の班編成などを調整し、効率よく実施することが今後の課題であるとしています。

合同防災訓練



地震災害を想定した訓練。

龍ヶ崎地域コミュニティ協議会では、「今後の防災訓練のあり方」について検討会を重ね、昨年10月31日（火）に初めて、市や龍ヶ崎小学校と合同で防災訓練を実施しました。

訓練は避難所運営を主眼とし、避難対象地区は、24地区を4ブロックに分けて輪番で行い、5年目に全体訓練を計画しています。今回は、根町・出し山・野原・田町地区の方が訓練に参加しました。実践的で集中的な訓練実施により、防災意識・行動力の向上が図られました。避難所は、龍ヶ崎地区全ての各自主防災組織による班編成のもとで運営され、避難者の受け入れや、避難所内の設備・備品・市防災コンテナの確認、資機材や飲料水兼耐震貯水槽

の動作訓練を行いました。不慣れな部分もありましたが、今後の訓練が向上するよう、次年度以降の訓練に活かしていきたいとのことでした。



各地区のお祭りなど

【八原まちづくり協議会】龍ヶ岡公園たつのこステージにて賑やかに行われる、毎年恒例の夏祭りは、昨年8月5日（土）、下町子ども会からお借りしたお神輿を子どもたちが担ぎ、華やかに始まりました。この「子ども神輿」と共に初めて企画されたものが、社会体験「親子でフリマ」です。各家庭で不要となった子ども服やおもちゃ、手作りのヘアゴムやストラップ等を親子で販売するものです。各家庭で値段を設定し、お客さんに呼びかけ、お金の計算をし、お釣りを渡して…と、親子でお店屋さんを体験しました。参加された方からは、地域の人と接することで徐々に積極的になっていく子どもの様子を見ることができて良かった、親子で物を大切に扱うことを学んだ等の感想が寄せられました。



八原まちづくり協議会「子ども神輿」



城ノ内コミュニティ協議会
「地区対抗玉入れ」

【城ノ内コミュニティ協議会】昨年10月21日（土）、秋祭りにおいて、地区対抗による輪投げ・玉入れ・パン食い競争等が行われました。雨天により、一部の飲食店を除き、城ノ内小学校校庭ではなく体育館での開催となりましたが、約600名が参加しました。地域ごとに集まったの応援は、校庭で開催される時よりもお互いの距離が近くなるため、他の地域の方とも話しやすく、交流ができたという声もありました。お祭りの最後には、地元のお店からの商品等が用意されたビンゴゲームで大いに盛り上がりました。

そのほかの活動

長山地区では、平成27年の夏に有志3～4人から始まったラジオ体操が、長山第三児童公園で行われてきました。地域にも定着した活動となり、平成29年3月に累計参加人数が2万人を突破しました。これを記念して、長山地域コミュニティ協議会では昨年8月1日（火）、第1回「長山地区みんなのラジオ体操会」を長山小学校校庭にて開催しました。当日は、小学生や幼児を含む170名の地域の方が参加し、たくさんの笑顔や元気な掛け声が校庭に響きました。



長山地域コミュニティ協議会
「みんなのラジオ体操会」

そのほかの活動

【大宮ふるさと協議会】生活安全委員会と健康福祉委員会の合同による交流会を、昨年11月26日（日）に開催しました。これは、普段コミュニティセンターを利用されていない人にも参加していただき、お話しをする機会作りを目的としています。長寿会による声かけの力もあり、お互いに元気な顔を見せ合うことができました。当日は和やかな雰囲気が進み、演目を待つ時間は会話を楽しむ様子が見られました。クーリングオフの講話では家族とのコミュニケーションや、諦めずに相談する大切さを感じ、相撲甚句や、ユーモアたっぷりの手品に盛り上がりました。



大宮ふるさと協議会「交流会」



北文間コミュニティ協議会
「夏休み お楽しみ・サロンの日」

【北文間コミュニティ協議会】平成26年2月に始まった「あおぞらサロン」では、第4日曜日の午後を「サロンの日」としています。昨年7月のサロンの日には、子どもたちのためにお楽しみ会が開催されました。これは、北文間小学校の閉校によりなくなってしまったお泊り会・バーベキューに代わるものとして開催されました。輪投げ大会や脳活ゲームを楽しみ、カレーやスイカ、かき氷などを食べ、大人を含めた約80名が参加しました。子どもたちが輪投げ等を楽しむ様子や、カレーを美味しくそうに食べる姿が印象的でした。

【久保台小学校区わくわく協議会】地域に住む高齢者を中心に、認知症予防を目的として、脳トレ講座「健康クラブ」を開講しています。内容としては、詩や江戸小説の音読で脳の血流を良くし、言葉の並べ替えやしりとりで思考力や創造力を鍛え、簡単な計算で集中力や判断力を鍛えます。また、脳の活動の活発化が期待される指先の体操により、脳へ刺激を与えていきます。前年度始めた時は10名前後でしたが、今年度は募集人数を超える30人以上の応募があり、今後も継続が期待される講座です。



久保台小学校区わくわく協議会
脳トレ講座「健康クラブ」

つなぐネット活用事例

昨年11月26日（日）、龍ヶ崎西コミュニティ協議会の最大のイベント「西の風まつり」が、龍ヶ崎西小学校体育館で開催されました。子どもから大人まで約330人が来場し、笑い声と笑顔があふれる1日となりました。無料で遊べるお楽しみゲームコーナーでは、スタンプラリー形式にすることで、スタンプをためる楽しみを感じることができました。約140名の協力者のもと運営されましたが、その中には流通経済大学の学生も加わり、会場の準備、運営、片付けに協力していただきました。いつもより賑やかな「西の風まつり」となり、学生から元気をもたらったという声が多く聞こえました。

学生の参加は、市民活動に協力したい・協力してほしい両団体の橋渡しを行う「まちづくり・つなぐネット」の活用により実現しました。



龍ヶ崎西コミュニティ協議会
「西の風まつり」

【そのほかの地域コミュニティ協議会における活用事例 平成29年度の実績】

- ・川原代ふれあい協議会 敬老のつどい × 流通経済大学
チュールリップ球根植え × 愛宕中学校
- ・龍ヶ崎西コミュニティ協議会 花壇整備 × 愛宕中学校
- ・龍ヶ崎地域コミュニティ協議会 防犯パトロール × 流通経済大学
- ・八原まちづくり協議会 パンジーの苗植え × 城ノ内中学校

「RYUとぴあ音頭パレード2017」参加！



川原代ふれあい協議会
「見る人も、参加する人も楽しく。」

昨年7月22日（日）に行われた「RYUとぴあ音頭パレード2017」。今年は、3つのコミュニティ協議会が参加し、それぞれ個性あふれる踊りを披露しました。赤や黄色のカラフルな衣装が印象的だった龍ヶ崎西コミュニティ協議会は、積み重ねてきた練習の成果が実り、見事「チームワーク賞」を受賞しました。これまで様々なキャラクターに仮装してきた川原代ふれあい協議会では、新キャラクターのお相撲さんに仮装し、「ユーモア賞」を受賞しました。次回はどんなキャラクターが登場するのか、今から楽しみです。

また、毎年参加している2つのコミュニティ協議会に加え、今回初めて参加したのは、長戸コミュニティ協議会です。黄緑色を基調としたのお揃いのTシャツに、茨城弁をモチーフにしたお手製の手ぬぐいを首にかけ、掛け声も勇ましく参加しました。残念ながら入賞はできませんでしたが、町の中を踊って気持ちがよかった、次回はアピールタイムで踊りとは違うアピールを準備して挑みたいという意気込みも聞かれました。



長戸コミュニティ協議会
「また来年も、皆でがんばっぺなあ。」

会長の部屋

設立2年目を迎えた「長戸コミュニティ協議会」と、「久保台小学校区わくわく協議会」の両会長にお話を伺いました。



長戸コミュニティ協議会
木村 勉 会長

昨年4月に発足してからはや1年、時の流れの早さを実感しております。長戸小学校が城ノ内小学校に統合となり、地区内の一体感が薄れてしまうのではないかという声が聞かれる中、今だからこそ皆が連携・協力し、より良い長戸地区を作り上げようと各委員会において各種事業に工夫を凝らし、活発に活動してまいりました。今後、役員をはじめ、地域の皆さまのご協力をいただき、活力ある事業を展開していきたいと考えておりますので、多くの方のご参加をお願いいたします。



久保台小学校区
わくわく協議会
石崎 雅年 会長

住民の皆さまが安心・安全に暮らせ、事業に参加される皆さまが心からわくわくする地域コミュニティにすべく、6つの委員会でスタートしました。昨年は試行錯誤の連続でしたが、おぼろげながらも先が見通せるようになりました。「わくわく祭り」は委員会の垣根を超えた事業ですが、今年度は久保台小学校の「おたのしみ祭」と同日開催とし、多くの地域住民にお越しいただきました。これもひとえに、活動を支えて下さいます皆さまのおかげと感謝しております。当協議会はこれからも地域の皆さまのコミュニティの中心となり、地域の絆を深めていく活動を続けてまいります。

そのほかの地区

松葉地区では、「第36回ニュータウン夏祭り」が昨年7月29日（土）に開催されました。龍ヶ崎ニュータウン開設1年目から始まったこの夏祭りは、住民同士の交流や子どもたちの楽しみの場として続く、歴史あるお祭りです。

地域の方の年齢が高くなり、会場設営等に苦労していますが、これからも回を重ね、地域の皆さんの思い出が増えていくことを願っています。



皆で輪を作って踊る盆踊り。